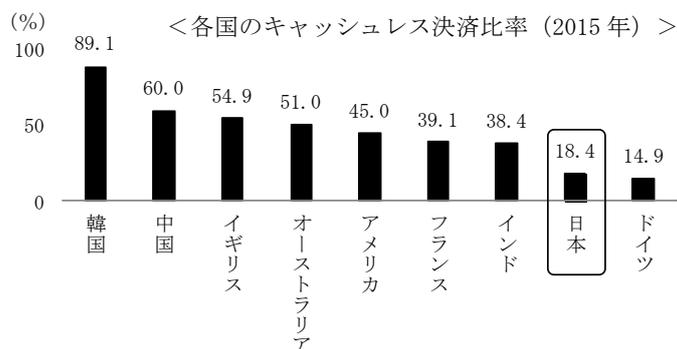


今回のテーマ：「決済電子化（キャッシュレス決済）」

政府は、代金決済のキャッシュレス化を進めるための支援に乗り出しました。補助金支給や税制優遇で後押しする方針です。

1. 日本のキャッシュレス化の現状

日本は諸外国に比べ、外食時や買い物時のキャッシュレス決済化（クレジットカードやスマホなどを介しての代金決済）が遅れており、経産省は、訪日客の4割がそのことに不満を持っているとしています。



(出所：経産省 平成30年「キャッシュレス・ビジョン」より抜粋)

2. キャッシュレス化による効果

キャッシュレス化によって、例えば次のような効果が期待されます。

- (1) 消費者の利便性が向上する。(ex. 手元現金の準備が不要)
- (2) 店舗の経営効率が高まる。(ex. レジの混雑解消)
- (3) 紙幣や硬貨の発行、流通、管理にかかる社会的コストが軽減できる。

3. QRコードを使った決済方式

QRコードを使ったキャッシュレス決済は、買い物客がスマホにQRコードを示す方式と、店側が端末に示して買い物客が読み取る方式の2つに大別されます。政府は、年内にも仕様を統一する計画をまとめているとしています。

買い物客がスマホにQRコードを示して、店側が読み取る方式



店側が端末にQRコードを示して、買い物客が読み取る方式



4. 今後の動向

2020年東京オリンピックや2025年大阪博覧会に向けて、政府は、キャッシュレス決済比率を現在の20%程度から40%程度にまで引き上げると宣言しています。事業者に対し、キャッシュレスに対応する端末設置費用への補助金支給や税制面での優遇措置が検討されており、今後キャッシュレス化へ大きく変わっていくと予想されます。

